00	09	03	002	永年保存	起案	令和4年12月15日	決裁	令和	年	月	日				
								議長	副議長	事務局長	副主幹	係長	主査	担当	文書取扱主任

第1回 滝川市総合計画調査等特別委員会 会議録

開催年月日	令和4年10月14日（金曜日）	開会：9時56分	閉会：11時15分
開催場所	第二・第三委員会室		
出席委員	山口、寄谷、三上、山本、佐々木、安樂、荒木、東元	事務局	深村事務局長
	議長、副議長		壽崎副主幹
欠席委員	なし		高橋係長
説明員	別紙のとおり		山本主査
議件	別紙のとおり		吉田主事
議 事 の 概 要	1 所管からの報告事項について		
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、報告済みとした。		
	(1) 滝川市総合計画策定方針について		
	(2) 滝川市総合計画（原案）について		
	2 その他について		
	なし		
	3 次回委員会の日程について		
	次回委員会は、10月24日（月）第4回臨時会本会議終了後に開催することに決定した。		
	上記記載のとおり相違ない。 滝川市総合計画調査等特別委員長 山口清悦 ㊞		

第1回 滝川市総合計画調査等特別委員会

R4.10.14 (金)10:00～

第二・第三委員会室

開 会 9:56

委員長 ただいまより、第1回滝川市総合計画調査等特別委員会を開会いたします。
それではまず最初に、開会の冒頭ご挨拶を申し上げたいと思います。
委員長を仰せつかりました山口でございます。総合計画は、滝川市の今後10年の繁栄を願ってつくる大事な計画となります。私たちは今期僅かな任期になりますけれども、将来に向けて活発なご意見を賜りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

副委員長 副委員長を拝命しました寄谷です。慎重な審議が行われるよう職責を全うしていきたいと思っておりますので、よろしく願います。

委員動静報告

委員長 委員動静ですが、委員は全員出席です。議長、副議長に出席いただいております。報道については、株式会社北海道新聞社、株式会社空知新聞社の取材を許可しております。

1 所管からの報告事項について

委員長 議事に入る前に総務部次長から発言の申出がありましたので、これを許したいと思っております。

堀之内次長 委員長のご許可をいただきましたので、私より一言ご挨拶を申し上げます。
まず、市議会におかれましては総合計画調査等特別委員会を設置していただきましたことにお礼を申し上げます。

さて、総合計画につきましては、今ほど委員長からもございましたが、市の各計画の最上位計画として位置づけられておりまして、今後10年に向けて幅広い市の政策全般を市民に示していくものになります。本市の総合計画は、令和3年度をもって現計画が終了しておりまして、本来であれば今年度から新たな計画がスタートする予定でございましたが、新型コロナウイルスの影響や現在議論されております立地適正化計画及び公共施設個別施設計画の策定と並行して議論していくことが必要と考えまして、1年延期して、令和5年度にスタートさせるべく内部議論を重ねてきております。

本日お配りしております総合計画（原案）につきましては、これまでの内部での議論を踏まえまして、たたき台として策定したものです。これを基に現在並行して市民会議も開催しているところでありまして、市民会議で出された意見なども本特別委員会に報告させていただく予定ですが、委員各位におかれましても原案を基に活発なご議論を賜りたいというふうに考えております。年内に一定程度まとめられるように進めていきたいと思っております。

人口減少、少子高齢化、全国的にも本市においても大きな課題です。様々な部分をコンパクトにしていかなければならない時代でもあります。人口減少と少子高齢化は避けては通れない道でありながらも、未来を担う宝であります子供たちを育むことや市民活動の活発化、健康で豊かに暮らせるまちづくり、安定的な農畜産物の生産、豊富な地域資源の活用など、様々な魅力を市内外へ発信して、優れた農村景観と都市の利便性を兼ね備えたちょうどいい田舎滝川を守りながら、持続可能なまちを目指していかなければならないと考えており、総合計画の策定によりそれらを実現していくために、委員各位のお力添えをよろ

しくお願い申し上げます。

本特別委員会は、本日の第1回目を含めて5回程度を予定しております。本日は第1回目ということもございまして、まずは策定方針や計画全体について担当からご説明申し上げます、それに関してご不明な点やご意見も交換しつつ、特別委員会をスタートさせていただきたいと思っております。時節柄何かとご多忙とは存じますが、委員各位の活発なご意見を頂戴したく、よろしく願いいたします。

委員長 それでは、早速ですけれども、(1)、滝川市総合計画策定方針について説明を求めます。

(1) 滝川市総合計画策定方針について

熊谷係長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 それでは、質疑に入ります。質疑ございますか。

三上 総合計画策定体制の市民会議が重要だと思っているので、これは各界から選出された方だと思うのですが、どのような方々でしょうか。個人名はよろしいです。どのような……出ていますか。

(何事か言う声あり)

委員長 三上委員。次の案件で説明がありますので、よろしいですか。

三上 はい。

委員長 ほかに質疑ございますか。策定方針について質疑があればお受けします。

山本 今、市議会で委員会を開くのと市民会議でほぼ同じものが同時ということ、市民会議ですばらしい意見が出てくる場合もあると思うので、もしそういった内容がこの計画に盛り込まれたらという部分で、職員の皆さんがでつくったベースの計画がそういういい方向になっていく可能性もあると理解してよろしいですか。

平川課長 おっしゃられるとおりで、今まさに市民会議のほうを開催してございます。実は、昨日も2回目を開催させていただきましたが、我々の思いとしましては市民会議をやる都度、特別委員会も開催をさせていただき、市民会議で出た意見等をきちんと皆様にご報告しながら、それに事務局の考え方を付して各委員のご意見をいただきたいと考えています。

委員長 他に質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、(1)は報告済みといたします。

次に、(2)、滝川市総合計画(原案)について説明を求めます。

(2) 滝川市総合計画(原案)について

熊谷係長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 暫時休憩いたします。

休 憩 10:28

再 開 10:29

委員長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

熊谷係長、説明を続けてください。

熊谷係長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。今回は第1回ということなので、委員の皆さんは原案を見るのも初めてだと思います。次回以降具体的に同じ資料で委員会を進めていきますので、今回確認したい事項等があれば質疑していただきたいと思います。

副議長 質疑ございますか。

委員長 市民会議があったのは、昨日でしょうか。

副議長 副議長、質疑ですか。

委員長 質疑です。

副議長 基本的に正副議長は、委員の質疑がないということを確認してからということにさせていただいていいですか。

委員長 はい。では、ちょっと黙っています。

副議長 恐らく正副議長は、事前に説明を受けていると思うので、理解度は皆さんより深いと思います。

委員長 先に委員からの質疑ということですね。分かりました。

安 楽 はい、お願いいたします。

副議長 委員の皆さん質疑ございますか。

委員長 委員の皆さん質疑ございますか。

安 楽 16ページ、学校教育の充実ということで今説明を受けたのですが、ここに入るのが適切かどうか分からないですけれども、コミュニティ・スクールという地域と学校の連携という観点では入っていないのですが、これが入っていない理由について教えてください。

平川課長 それと、24ページの力強い産業の創出で、施策の方向性になってくると思うのですが、人手不足を解消する観点で近隣自治体と連携するのも当然ですが、ここに教育委員会だとか、あと学校だとか、そういう、進路指導の先生の影響というのは非常に大きいことから、細かい話になる。そういうものも含まれるべきではないかなと思います。

安 楽 まず、16ページのコミュニティ・スクールの件で、今たたき台ということでお示しをしております、今後この部分についても市民会議等で議論していくことになるのですが、委員おっしゃるとおり令和2年からですか、コミュニティ・スクールが始まりまして、各中学校単位で今取り進めているということで、例えば地域全体で支えるというような文言がたしか、教育のまち滝川として将来の滝川市を担う児童生徒、学校、家庭、町内会などの単位で連携して地域全体で育成していくというようなことに一応盛り込んでいます。具体的にコミュニティ・スクールという言葉は今ここには入っていませんけれども、意味合いとしてはこちらのほうに入っております。

安 楽 施策の方向の3つ目の意味合いとしても、そこにも入っているということになります。目指す姿、今私は目指す姿のところの説明を申し上げましたけれども、施策の方向としてコミュニティ・スクールの意図としては、施策の方向の上から丸3つ目、地域との連携を強化した教科横断的な学習を推進するとありますが、この中にもコミュニティ・スクールの意味合いとして含まれているという認識で考えてございます。

安 楽 それから、委員、すみません。24ページについて、もう一回教えていただけますか。申し訳ありません。

安 楽 24ページの施策の方向というところで、3番目、これは上にもつながるのですが、地元企業の人手不足を解消する観点から、近隣自治体と連携しながらというところで、これは、新規学卒者の地元定着を推進するのですけれども、このところに教育委員会だとか学校って、やっぱりそういう教師の力って大きいので、特に進路指導。そういうものも入るべきではないかなというふうに思うのですが。

平川課長 こちらにつきましてももちろん今委員がおっしゃるとおりで、各学校、中学校からもうキャリア教育の一環で市内のいろいろな企業に実際に職場体験ではないのですけれども、そういったこともやっていたりしますので、文言整理としては今後各委員、それからこちらの会議、それから市民会議ともいろいろご意見いただきながら、最終的に調整をしていきたいと考えております。

委員 長
山 本 他に質疑ございますか。
これは、総合計画で10年間滝川市の施策の目標ということになるわけですが、当然そのためには財源が出てくると思うのです。財源が出てくるということは、この計画の10年の間でどれを先にやるとか、時間のかかるものとすぐできるものが出てくると思うのですけれども、優先順位という考え方はこの中で示されてくるのか。10年の間で順番にこれからこういうふうにやっていきます、だけれどもこれは急ぎます、これはちょっと時間かけてやりますということになるのかと思うのですが、その辺はどうなのでしょう。

平川課長 今のご質疑ですけれども、総合計画には各個別の事業はのせていません。こちらに書いているとおり、施策の方向ということで位置づけていて、各事業につきましては先ほど来冒頭に説明のありましたとおり、実行計画なるもので、今のところ3か年分ぐらいの計画を立てて、その中でローリングしていくようなことを考えてございますので、優先順位等でいえばそちらのほうで分かってくると考えています。

委員 長
三 上 他に質疑ございますか。
まず、アンケートの部分で、これは若い人の世代が40代までで区切ったとしたら47.5パーセントで、これから滝川で生きていく中で若い人の意見が取り入れられたと思っています。ただこのランダムに送ったアンケート用紙が全てではないと思うのです。ここにも書いてありましたが、11団体の方とのヒアリングをされています。どういった団体だったのか、教えていただけますか。

熊谷係長 団体ヒアリングにつきましては、まち・ひと・しごと総合戦略で委員をされている方の団体を中心にヒアリングをさせていただきました。団体名を申し上げますと滝川商工会議所、北洋銀行、青年会議所、PTA連合会、建設協会、北海道銀行、江部乙商工会、たきかわ農業協同組合、北門信用金庫、社会福祉協議会、連合北海道滝川地区連合会といった団体でございます。

三 上 その団体の責任者だったのですか。総合計画をつくるときに重要な点は、その分野、分野で携わる第一線で関わっている方の意見というのが非常に重要だと思うのです。そういった意味でお聞きしたいと思います。

熊谷係長 ヒアリングにつきましては、各団体の代表の方をメインに、団体の方が来れない場合はその次の専務ですとか、そういった方に対して聞き取りを行っております。

平川課長 今の説明のとおりなのですけれども、例えば社会福祉協議会は会長と最前線で動かれている方とか、組合せは様々です。ただ、金融機関は支店長とか、そういった主に代表者の方が多いのですけれども、そういった中でもきちっと最前線で活躍されている方も入っているという認識でおります。

三 上 市民会議ですが、今各団体から選出されたのだと思うのですが、個人の意見というよりも、やはりその団体を代表してきているわけですから、十分会議に参加する際には皆さんのアンケートとは言いませぬけれども、そういったものをそろえながら参加していただくような働きかけをしたほうが良いと思うのです。

が、どうでしょうか。

平川課長

そういった役職なり、職であったり、実際の職業であったり、それとは別にまたそういった任意団体の会員になられているという方たちなので、もちろんいろんな立場があるとは思っています。三上委員のおっしゃるとおり、我々としてはそういったご本人が所属している組織の代表という意味合いもありますし、個人の意味合いもあって、もちろん両方の二足のわらじで参加いただいていると認識しています。

堀之内次長

補足なのですが、昨日も市民会議を行ったときにこういうお話がすごく多かったです。自分は仕事でこういうことに携わっているの、こういう考え方があります。一方、自分は家庭にこういう子供がいるので、こういうふうに思っています。こういった両方の形での意見というのがすごく多かったので、バランスの取れた発言をいただいていると感じております。

委員長

他に質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長

なければ、副議長お願いいたします。

副議長

では、2点だけお願いします。先ほどの挨拶のところで、市民会議で出た意見を反映させてからこの委員会に再度そういうのも含めて報告していきますということをおっしゃっていましたが、まず昨日行われた市民会議の中で特筆される、どうしても取り入れたほうがいいと思っている発言内容等について教えていただきたいのが1点。

それと、もう1点は、最後のほうに、これは31ページのSDGs、それから37、38ページにもチェックシートみたいのがあるのだけれども、これだとSDGsには17の目標があって非常に多岐にわたっていて、もうほとんど何でもかんでも入っているという状態です。それで、これはチェックリストから多分抜け落ちるものは絶対にあると思うのですが、その抜けたものについては特に力を入れるつもりはないというふうに理解してよろしいのか。31ページでいうと、SDGsの目標達成に寄与するというところで、SDGsと言ってしまうと一くくりになってしまうので、だから全体像としてこれはやりますよと言っているくんだりになっている。これはそんなに重要なかと実は思っております、だからそういうことをどういうふうに思っているのか教えていただきたい。

平川課長

まず、昨日の市民会議の件なのですけれども、大変申し訳ありません。昨日は2回目の市民会議がありました。本来であればこの会議が終わった後に2回目ということだったのですが、市民会議のメンバーの皆さんのご都合もありまして、昨日の晩に行いました。それで、昨日の2回目から今ご説明申し上げた基本計画、基本目標の1番目、未来へはばたく子どもたちを育むまちから入りまして、実はまだ取りまとめてございません。なので、そちらにつきましては大変恐縮ですが、先ほど申し上げましたとおりの各会議で出た意見、それから私たちの意見も添えて次回の特別委員会で議論していただきたいということでご了承願いたいと思います。

それから、SDGsの関係ですけれども、これはご承知のとおり37ページ、38ページはまだチェックはしていませんけれども、一応考え方としましては前回も三上議員から定例会の中で質問もあったと思いますが、私たちの考え方としてはあくまでも滝川市が目指しているものがひいてはSDGsにつながっていくというスタンスで考えています。SDGsも本当にそもそも論の当たり前の

ことがいろいろちりばめられていて目標になっていると思うのです。なので、おおむね網羅されているとは思いますが、まず第一にやっぱり滝川市として何をしていくのだということを先に考えて、その行く末にこちらにひもづくということで今のところ考えています。

委員 長
議 長
委員 長

議長は、委員会の進め方に何かありますか。

次回以降に聞きたいことはありますので、今回はよいです。

それでは、質疑を終了いたします。

(2)、滝川市総合計画（原案）については報告済みといたします。

2 その他について

委員 長

2、その他についてですけれども、委員の皆さんから何かございますか。

(なしの声あり)

3 次回委員会の日程について

委員 長

それでは、次回委員会の日程についてですけれども、10月24日、本会議終了後に開催予定となっております。案内は省略させていただきたいと思います。

以上で第1回滝川市総合計画調査等特別委員会を閉会いたします。

閉 会 11:15

第1回 滝川市総合計画調査等特別委員会

日 時 令和4年10月14日（金）

午前10時00分

場 所 第二・第三委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

1 所管からの報告事項について

《総務部》

（1）滝川市総合計画策定方針について

（資料）企画課

（2）滝川市総合計画（原案）について

（資料）企画課

2 その他について

3 次回委員会の日程について

日時 10月24日（月） 本会議終了後。（開催時間は当日連絡）

場所 第二・第三委員会室（案内は省略）

○ 閉 会

令和4年10月11日

滝川市議会議長 関 藤 龍 也 様

滝川市長 前 田 康 吉

滝川市総合計画調査等特別委員会への説明員の出席について

令和4年10月3日付け滝議第80号にて通知がありました第1回滝川市総合計画調査等特別委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願ひします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願ひします。

記

滝川市長の委任を受けた者

総務部次長

総務部企画課長

総務部企画課係長

堀之内 孝 則

平 川 泰 之

熊 谷 純 一

(総務部総務課法制文書係)